

第15回図書館総合展フォーラム

ここが図書館情報の最前線!!

# 情報を未来につなげる カレントアウェアネス・ポータル

発表者： 佐藤翔(同志社大学社会学部助教)

林豊(京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館)

依田紀久(国立国会図書館関西館図書館協力課調査情報係長)

司会： 兼松芳之(国立国会図書館関西館図書館協力課課長補佐)

# 本日のフォーラムの流れ

## 前半(プレゼン)

依田	⇒ 概要	+	業務モデル
林	⇒ 作り方	+	つながり方
佐藤	⇒ 使い方	+	使い倒し方

## 後半

質疑応答 + パネルトーク

# 1. 全体構成：CAポータルコンテンツ4種

## カレントアウェアネス-R

配信：毎日

件数：1日6～10件程度

= 月間150～200件程度

= 年間1800～2000件程度

(累積) 16000件突破！

位置づけ：CA,Eのネタ帳

(業務ツール)

性格：速報性重視でニュースを伝える

分量：規定なし(2, 3文程度～)

ライター：調査情報係が執筆

(係3人 + 非常勤調査員)

## カレントアウェアネス-E

配信：隔週

件数：年22回、年間130本程度、  
(累積)もうすぐ1500本！

位置づけ：刊行物

記事タイプ：事業紹介、文献紹介、インタビュー etc.

分量：1,500字

ライター：係員執筆中心から、最近は  
外部執筆比重へシフト

企画：調査情報係

(時々持ち込み企画)

# 1. 全体構成：CAポータルコンテンツ4種

## カレントアウェアネス

配信：季刊（3月、6月、9月、12月刊行）

位置づけ：刊行物

記事種別：

一般記事 軽め読みもの

動向レビュー 事業等の流れを整理

研究文献レビュー 研究の流れを整理

分量：28ページ（一般3,000字、

動向6,000字、研究文献10,000字）

ライター：その分野に詳しい専門家、その分野に熱い人

企画：編集企画会議

（総勢20名：事務方、編集企画員、編集協力員）

編集：調査情報係による校正

## 調査研究

刊行媒体：調査研究レポート

図書館研究シリーズ

刊行頻度：原則年刊

業務形態：委託による調査が中心

（シンクタンク＋図書館情報学の先生など）

テーマ：

2011 東日本大震災と図書館

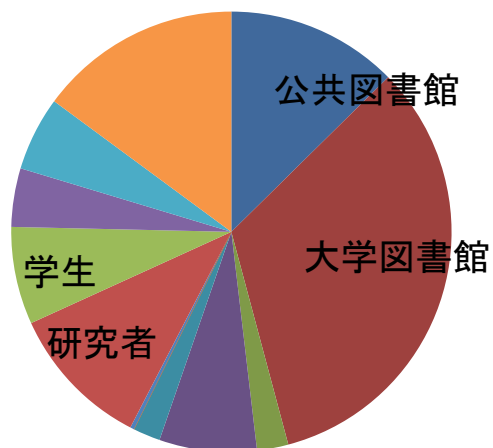
2012 レファレンスサービスの課題と展望

2013 地域活性化志向の図書館における経営

# 2. CAポータルの利用

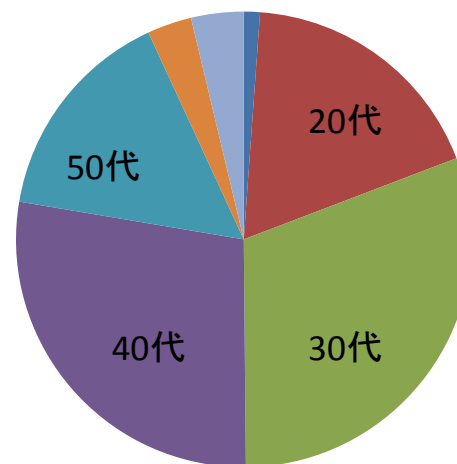
2012年度利用者アンケートより

## 利用者の所属



図書館員（公共）	12.6%
図書館員（大学）	33.2%
図書館員（学校）	2.3%
図書館員（専門）	7.2%
図書館員（その他）	2.0%
美術館・博物館員	0.0%
文書館員	0.3%
研究者	10.6%
学生	7.2%
出版業・書店業等	4.3%
IT関連	5.4%
その他	14.9%
	100.0%

## 利用者の年齢

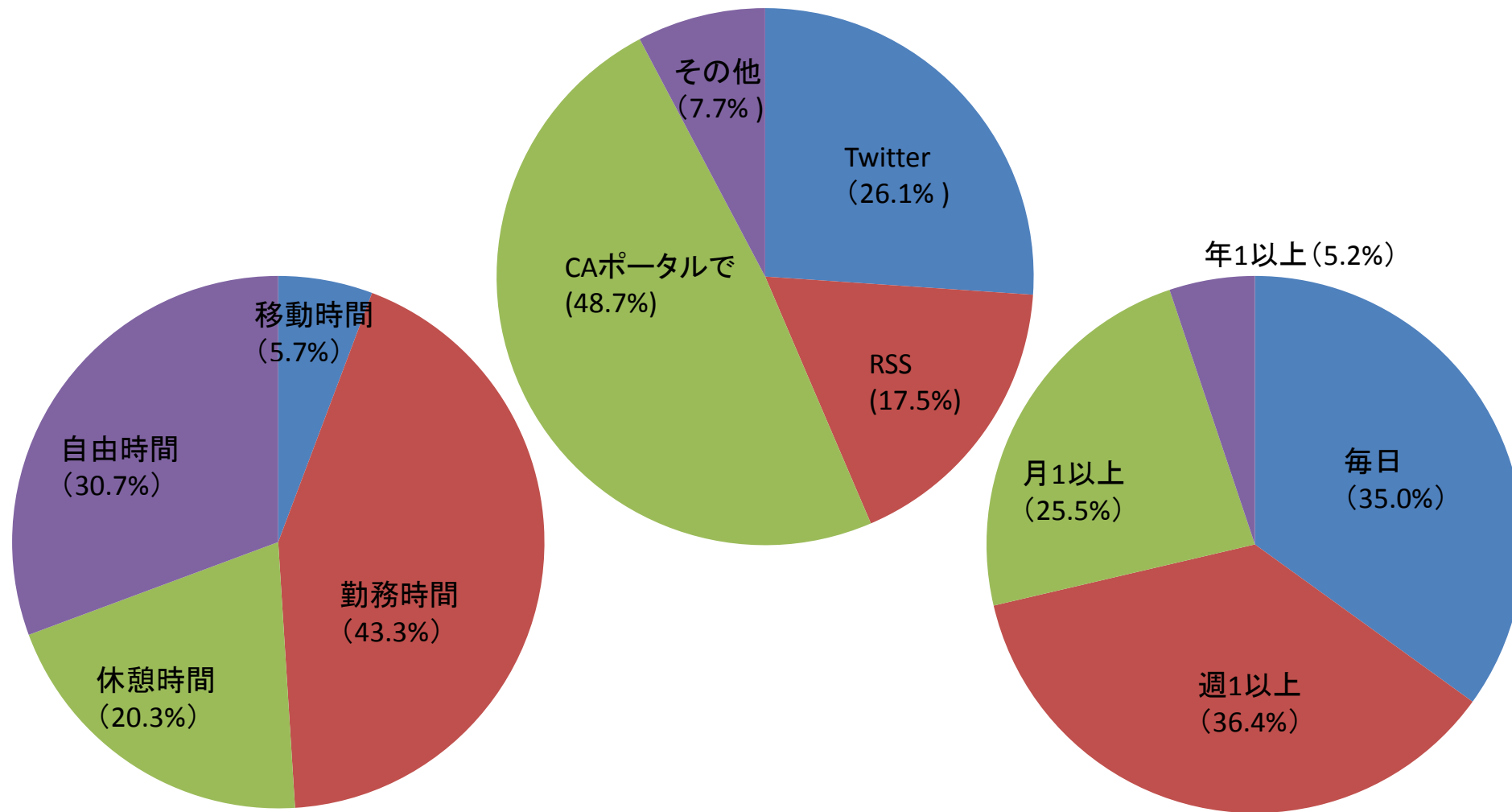


19歳以下	1.1%
20～29歳	18.1%
30～39歳	30.7%
40～49歳	27.8%
50～59歳	15.5%
60～69歳	3.2%
70歳以上	3.7%
	100.0%

# 2. CAポータルの利用

2012年度利用者アンケートより

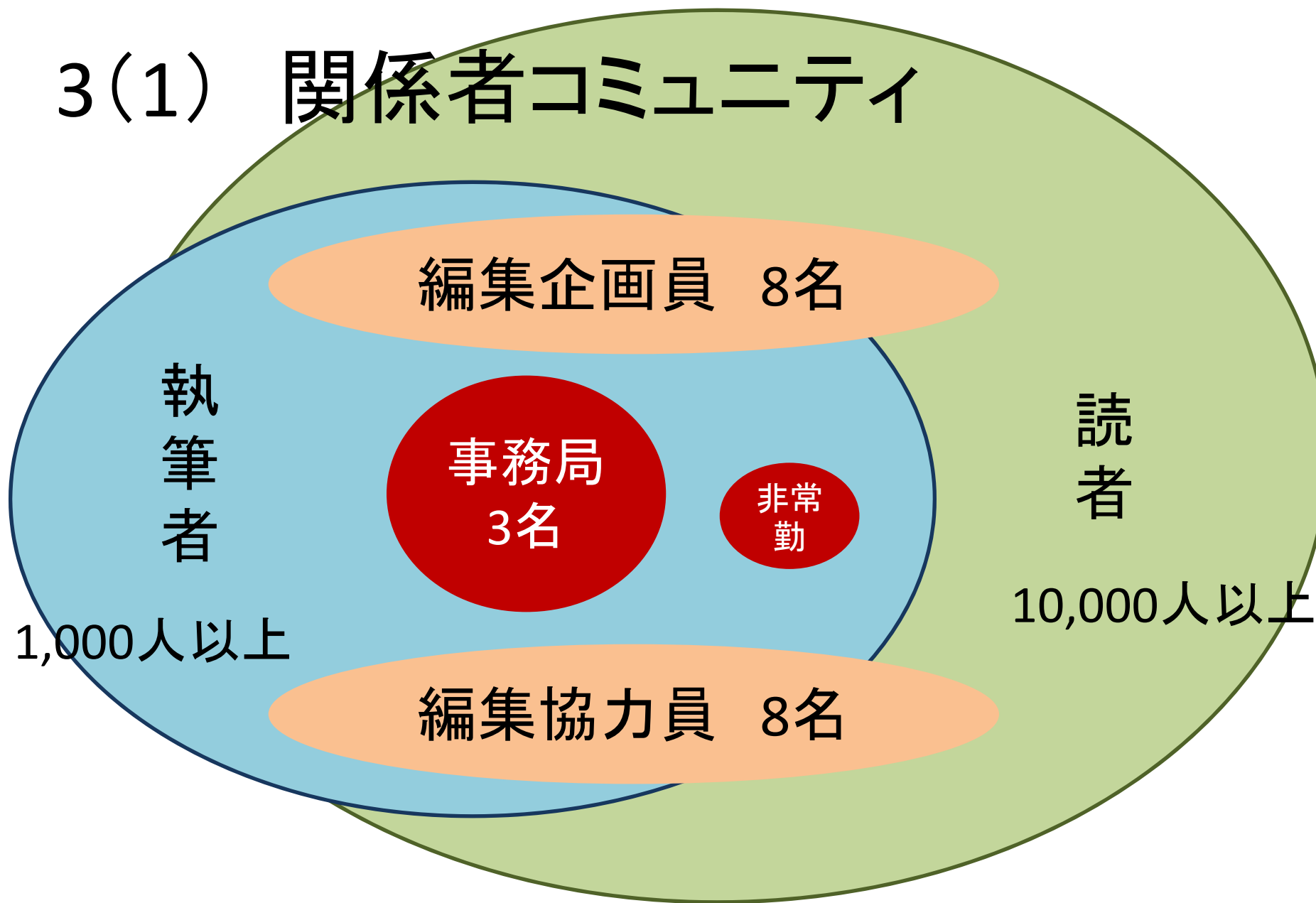
## 更新情報の把握方法



利用シーン

利用頻度

# 3(1) 関係者コミュニティ



## 3(2) CAポータルモデル

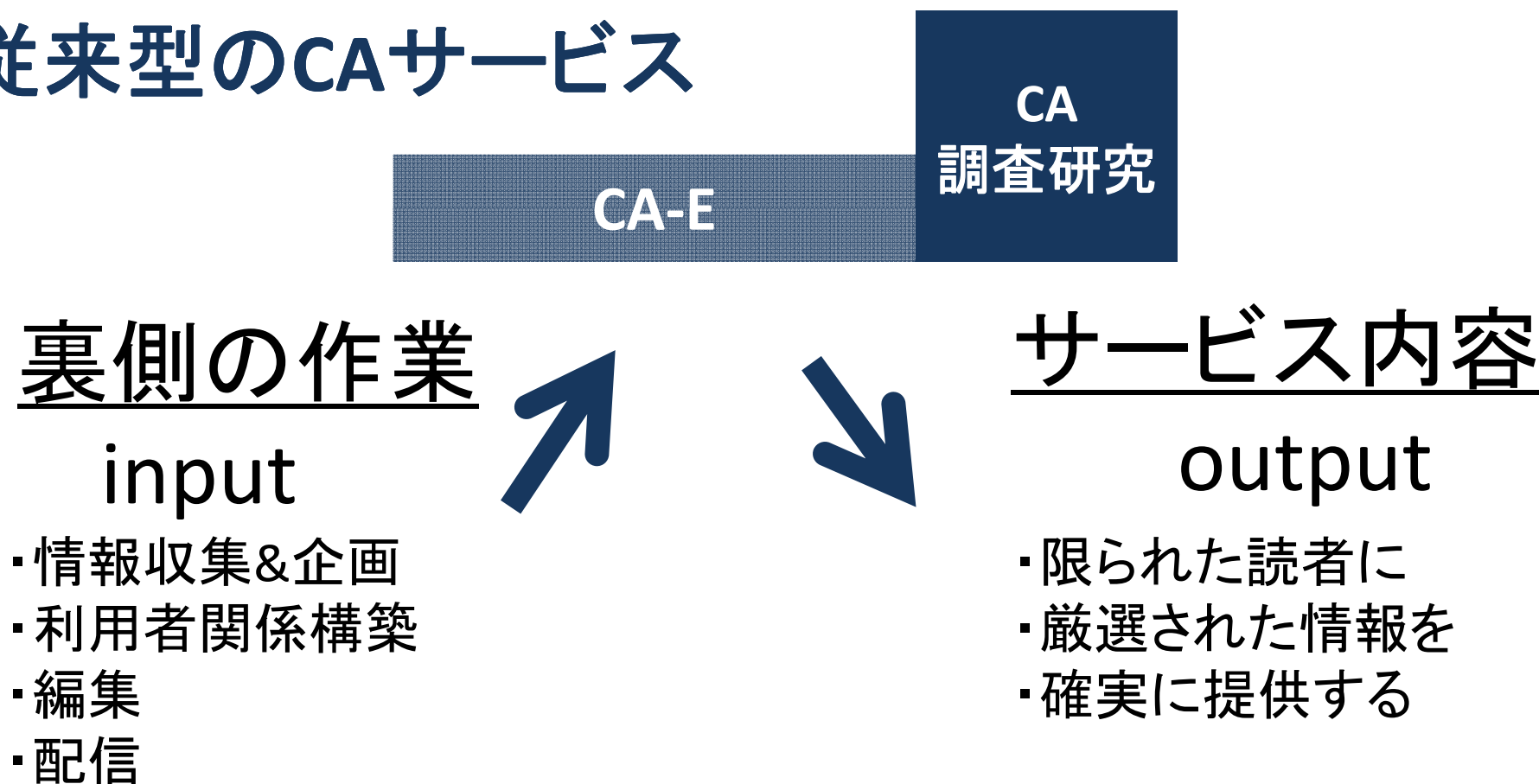
(情報サービスとしての)CAポータルモデルは、まとめて表現すれば、

**速報性のあるメディア (CA-R)を土台にしつつ、  
発信までの工程数と記事あたりの情報量の異なる複数のメディア (CA-R、CA-E、CA、調査研究)を組み合わせて、“いま”を伝え、さらに“いま”に至る文脈を容易にたどれるよう、すべての情報をウェブ上にアーカイブし提供する、** という運営の仕組みである。

CA1788 カレントアウェアネス・ポータルのいまを“刻む”：情報収集活動と未来へのアイデア  
依田紀久, 林 豊, 菊池信彦 参照



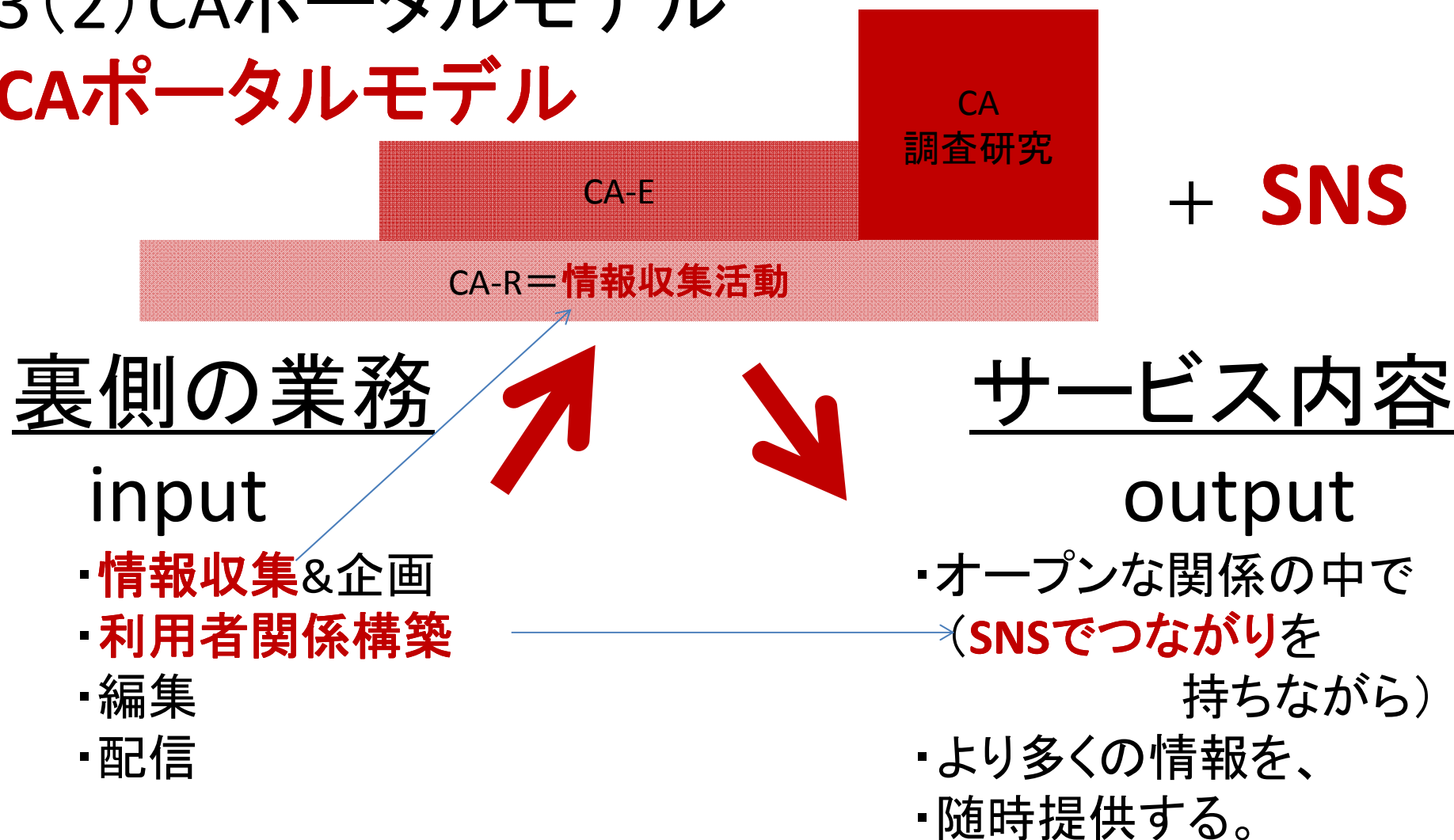
## 3(2) CAポータルモデル 従来型のCAサービス



時代のニーズにあっていない  
情報サービスは、すたれる！

# 3(2) CAポータルモデル

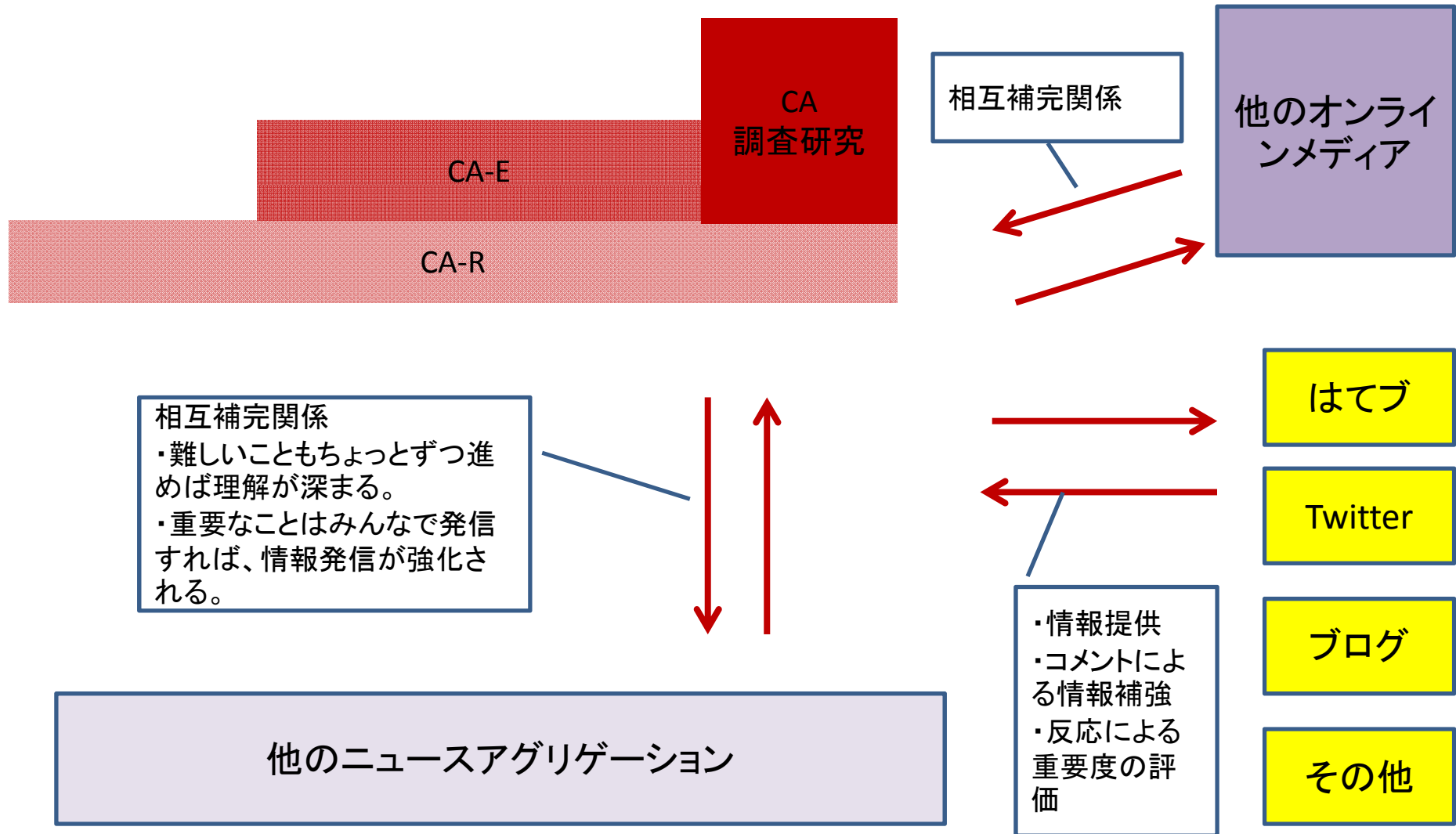
## CAポータルモデル



**裏側の仕事をサービスにすることで、業務量を  
(あまり)増やさずにサービス満足度UP!!**

# 3(2) CAポータルモデル

(類似メディアとの相互補完＋利用者との双方向性)



### 3(3) 図書館に関する情報の最前線

